

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立五条幼稚園 学校協議会

1. 総括についての評価

全ての取組について、保護者アンケート結果が、今年度の目標値を大きく上回って達成している。幼稚園の自己評価は適切である。今後も教職員間の連携を基盤とし、公立幼稚園の幼児教育を進めていってほしい。

2. 年度目標ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

- 令和6年度の本園アンケート調査で、以下の項目について、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答する保護者の割合を全学年で90%以上とする。
 - ・「幼稚園は、子どもたちが安心し、安全に遊べる環境を整えている」
 - ・「子どもは、喜んで登園し、様々な人との関わりを喜んでいる」
- 達成状況の評価に関しては適切である。
 - ・基礎となる園内環境の見直しを行うことで、子どもたちは安心・安全に幼稚園に通うことができている。
 - ・クラスを超えた関わりを大切にしていることは、子どもたちにも伝わっていることが分かる。クラス以外の友達や先生とも分け隔てなく関わり、思いやりの気持ちや憧れの気持ちなどの心が育っていることが分かる。
 - ・活動ごとに子どもたちの思いをきちんと受け止め、引き出す保育を進めていることから、子どもたち自身も充実感をもち、自信をもって思いを言葉にして伝える力が育まれている。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- 令和6年度の本園アンケート調査で、以下の項目について、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答する保護者の割合を全学年で90%以上とする。
 - ・「幼稚園は、個々の幼児を理解し、教員の資質向上を図り、発達段階に応じた教育内容をすすめている」
 - ・「子どもは、健康な生活に関心をもち、生活に必要な活動を自分でしようとしている」
- 年度目標に対する達成状況の評価に関して、適切である。
 - ・毎日、毎週欠かさず綿密な保育案を立案し、保育をすすめていることで、きめ細やかに配慮されていることが分かった。
 - ・誕生会や園外保育時には教職員がチームとなって連携し、子どもたちの安心・安全を目指して保育を進めている。安心して子どもたちを預けることができる。
 - ・子どもたちの生活の実態にあった保健指導や継続した取組、保護者との連携により、感染症拡大防止につながっていると考える。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- 令和6年度の本園アンケート調査で、以下の項目について、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答する保護者の割合を全学年で90%以上とする。
 - ・「幼稚園は、教育内容や子どもの育ちなどを様々な方法で保護者や地域に発信している」
 - ・「幼稚園は、近隣の学校園等と関わりをもてるよう連携を図っている」

○達成状況の評価に関しては適切である。

- ・様々な校種や地域の方とのつながりをもち、保育に取り入れていることがよく分かる。その中で子どもたちの中に地域への愛情が生まれている。受け入れる側としても、継続して交流する機会をもつことで、子どもたちの成長を感じられ、共に喜び合うことができた。公立幼稚園としての位置づけが確立させている。
- ・子どもの育ちや保育を見る視点を知らせることで、共に子どもたちの成長を喜び合うことができている。

3. 今後の学校運営についての意見

- 子どもたちの安心・安全に幼稚園生活を送ることができるように、引き続き環境の見直しに加え、近い未来に予想されている大規模地震などの災害においての対応についても教職員一丸となって取り組んでいってほしい。
- 子どもたち一人一人のありのままを大切にした質の高い幼児教育を進めていってほしいと願う。
- 継続した近隣学校園や地域との交流を進めていってほしい。公立幼稚園として、地域の一員である子どもたちを地域も一体となって育てていけたらと考える。そして、教育内容の発信に努め、五条幼稚園をより多くの人に知ってもらえるように幼稚園運営を進めていってほしい。